

(仮称) 汚泥再生処理センター整備事業について

1 背景と目的

熊谷市では、公共施設の老朽化対策等を行うため、公共施設の資産マネジメントを進めています。し尿や浄化槽汚泥を処理する「し尿処理施設」もその対象で、既存の3施設を集約した新施設(仮称)汚泥再生処理センターを現在の第一水光園の敷地内に整備する予定です。

【これまでの経過と今後の予定】

- H27.3 熊谷市公共施設資産マネジメント基本方針
- H29.4 熊谷市公共施設資産マネジメント基本計画
- R2.3 熊谷市し尿処理施設整備基本計画(再編方針の決定)
- R3.12 熊谷市循環型社会推進地域計画
- R4 汚泥再生処理センター整備基本計画及び生活環境影響調査
- R5 用地測量、地質調査、埋設物調査
- R6 土壌汚染調査、し尿等性状調査
- R7～8 プラントメーカー発注支援業務(業者選定)
- R9～11 管理棟、テニスコート、休憩室の解体・新施設の建設
- R12 (仮称)汚泥再生処理センター稼働開始



表1 既存し尿処理施設の概要

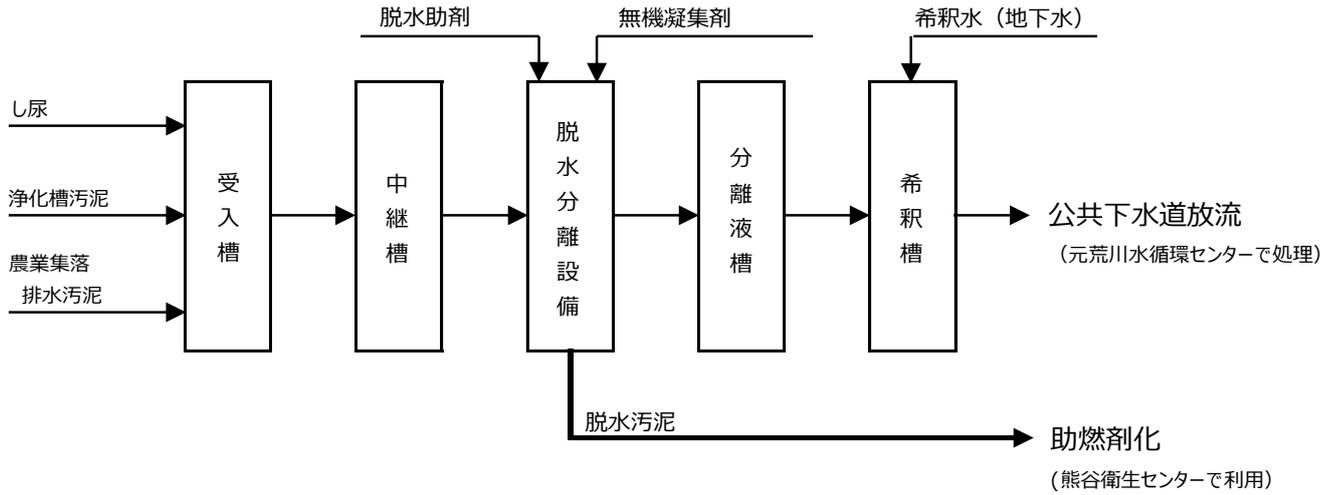
施設名称	第一水光園	荒川南部環境センター	妻沼南河原環境浄化センター
所在地	熊谷市上之3276	熊谷市津田1778	行田市大字中江袋261-1
建築年度(稼働年数)	昭和57年(41年)	平成16年(19年)	平成10年(25年)
処理対象区域	熊谷地区	大里地区・江南地区	妻沼地区
処理能力	160 kL/日	42 kL/日	45 kL/日
処理方式	低希釈二段活性汚泥法 + 高度処理(河川放流)	膜分離高負荷生物脱窒素 + 高度処理(河川放流)	高負荷脱窒素 + 高度処理(河川放流)
汚泥処理方法	堆肥化(委託処理)	焼却、一部堆肥化	焼却、一部堆肥化

2 新施設の基本事項

表2 新施設の基本事項

施設名称	(仮称) 汚泥再生処理センター
所在地	熊谷市上之3276(第一水光園敷地内)
計画処理能力	179 kL/日(し尿: 7 kL/日、浄化槽汚泥: 172 kL/日)
水処理方式	固液分離希釈下水道放流方式
資源化方式	助燃剤化(大里広域市町村圏組合立「熊谷衛生センター」で利用)
稼働予定年度	令和12年度
放流先	流域関連公共下水道(上之幹線)

3 新施設の処理方式



4 公共下水道への放流管接続

